

「留学生と日本」グループ活動に関するアンケート

1. 努力したこと・工夫したこと

(積極的に参加・発言したこと)

- 積極的に発表のテーマについて考えて議論しました。
- テーマを決める際に、できるだけ自分が思ったアイデアを出した。
- 留学生から見る日本文化・日本人のおかしい・面白い部分を見つけ出し、意見や感想を出した。
- 一緒に決めたテーマについて、ひとつひとつ考えて、自分の意見とか各国の意見や考え方などを調べました。

(全員、話し合いに参加できるように努力)

- 皆が話し合いにできるだけ参加できるようあまり発言しないメンバーにも意見を求めたりした。
- それぞれのグループメンバーが話しやすいように、母国についてのことなど話しやすい内容を振っていったりした。
- 留学生となるべく打ちとけられるように、意見を尊重しあえるように努力した。

(楽しいグループ活動への工夫)

- 話し合いが楽しくできるようにユーモアを。
- 互いに仲良くなるように雑談も大切にした。
- いろいろな面白そうなアイデアを出した。
- なるべく楽しくできるように仲良くなることを第1とした。みんなテーマを真面目に考えすぎてしまうので、うまく気分転換になるように別の話題をふってみたりした。

(メンバー間でのサポート&関係作りの促進)

- 個別に留学生の相談に乗った。
- 毎週一緒にご飯を食べにいった。

(意見調整、まとめ)

- 意見がいろいろとあがってきた時に、その意見を全体的に見て、方向性をつけて話し合いが進められるように努めた。
- まとめ役ともりたて役として、出た意見などをまとめて、今から何をすべきかを示した。
- グループリーダーとして、ディスカッションの中心を担い、メンバー全員へメールのやりとりを進め、様々な意見をひとつにまとめてプレゼンを具体的なものにするために努力した。
- みんなから出た意見をまとめて、グループリーダーのサポートとして発表や話し合いの前にリーダーと打ち合わせをした。

(意見の理解・共有を深めるための努力)

- みんなの意見をよく聞いた！
- テーマを決める時、皆できちんと相談していろいろなポイントを考えた。

(発表を成功させるための工夫)

- 個々のプレゼンのスピーチを聞いて、足りない部分、あるいは不十分で説得力がない部分を指摘しあった。

(メンバー間のスケジュール調整)

- みんなの予定の調整役、集まる日を決めたり、予定を聞いたりということをしました。

2. うれしかったこと・良かったと思うこと

(コミュニケーションがうまくいった)

- コミュニケーションは驚くほど、スムーズにいて仲良くなれました。
- うまくコミュニケーション取れました。円満なグループでした。
- いろいろな国の人でしたが、コミュニケーションは全然問題なくて、うまく取れました。
- 時々、話しているテーマと違うことを話してしまって、テーマから離れることがいっぱいありましたが、その話は面白い話だったので、みんなもとても夢中になりました。テーマから離れても、その話は無駄ではなく、いろいろなことが理解できて良かったと思います。

(意見を聞く姿勢・関わりあう姿勢)

- グループ全員がオープンマインドで互いの意見を良く聞いていた点はとても良かった。
- みんなやさしい人たちだったので、コミュニケーションはうまく取れたと思います。

(言語の面でサポート)

- 聞き取れないこともありましたが、みんな簡単な言葉で説明してくれたので助かりました。

(グループメンバーとの交流)

- グループでのコミュニケーションを通して、新しい友達も作っていくことができました。
- 飲み会にもいけたので、みんなとても楽しかったです。
- 発表の後、グループの皆で飲みにいきました。普通の日本人だけの暮らすではこんなことはまずありません。
- みんなで料理を作ったことは、コミュニケーションが深まって良かったと思う。

3. 困ったこと

(全員で集まらない・時間が足りない)

- 時間が足りないせいもあり、少し急いで事を進めすぎたところがあったかなと思う。
- 皆で集まって相談などをするとき、いつも1人か2人が用事で来られないことがあり、皆が都合の良い時間はなかなか見つかりませんでした。
- 欠席した人が時々いて、ちょっと残念だったと思いました。
- 欠席する人がちょくちょくいたことが問題でしたが、なんとかなりました。
- 深刻な問題はなかったが、あまりミーティングする時間がなかったので、他のグループより、コミュニケーションの機会が少なかったと思う。

(プレゼン・発表の方法が違う)

- 発表する方法が違う気がしました。

(専門用語・言語が難しかった)

- パワーポイントを作るときに、パソコンの用語が分からなくて困りました。
- 個人的には難しい単語が出てきて困りました。
- クラス外のコミュニケーションがメールのみだったため、日本語の難しさが問題でした。そのため、時々、誤解なども生じました。

(全員のディスカッションの参加度の違い)

- 意見などが一部の人からたくさん出たが、そうでない人もいた。もっとみんなから意見が引き出せたら良かった。
- グループメンバーの中でよくしゃべるメンバーとあまりしゃべらないメンバーの差が出てしまったのが1つの問題であった。日本人の僕らが、もう少し気を使って、全員が平均的に話せるような機会を作るべきだったように思う。

(テーマを絞る難しさ)

- 不思議に思うことなどが幅広すぎて、テーマを絞るのが大変だった。

(意見の相違)

- 問題があったとすれば、留学生と日本人学生の考え方が違った面。でも、最終的に皆で理解しあって仲良くなりました。

(話し合いを活発に進めることが難しかった)

- テーマをみんなが真面目に捉えすぎていたため、話が行き詰ることが多々あった。もっと楽しく仲良くやれば良かったと思う。
- 時々話すことがなくて、黙ったりすることがありました。でも何とか話し合うようになりました。

4. 学んだこと

(異文化を学ぶ面白さ)

- 文化の違いの面白さを実感した。これからもいろいろな文化に触れ、刺激を受けるとともに、自文化についても見直していきたいと思う。
- 国が違うからこそ、様々なルールの違い、遊びなど、新しい発見ができて良かった。
- まさか、この私に留学生の友達ができるなんて。今の自分の状況が信じられない。仲良くなるのは世界中の誰とでも簡単なのかなと思った。
- 日本人だけのグループ活動より、数倍楽しかったし、意見も良く飛びかい活発だった。
- 文化の違いを感じたけど面白いなと思った。
- 日本のことだけでなく他の国のことも学びました。
- いろいろな文化のことを教えてもらえました。また同じ国内のことでも知らなかった少数民族のこととか知ることができました。

(共通点への発見)

- グループメンバーはそれぞれ違う国出身だけれども、アルバイトの話などで盛り上がられて共通の話題はいっぱいあるなと感じた。
- 他の国の考え方を知って、違いが大きくないことも気づいた。

(相互理解のために、大切なこと)

- 相手のバックグラウンドを理解することが大切。
- 互いの意見を否定せず、まず聞くことの大切さを学びました。
- 人の話をよく聞くことの重要性。全ての人間関係はそこから始まると思った。
- 個人的な意見を持つことは大切だが、社会的に生きていく上で、他人の意見も同じく大切だということに気がついた。
- グループのメンバーで、相手の言うことを、うまく意見を取り入れて尊重している人がいて、こういうまとめ方をしたらいいんだなと勉強になった。

(グループワークを通して仲良くなった)

- 共同作業することで、すごく近くなれて嬉しかった。
- グループメンバーが互いに仲良くなり、自然に話しが盛り上がるような状況は理想的だと思う。
- グループ活動を通して、前よりも親近感がわいて、話しかけやすくなった。
- 多文化グループワークだったため、意見や焦点をひとつに絞ることが難しかったのですが、その分、ひとつにまとまったときは、一体感を感じました。
- グループ内外との留学生とはもちろん、日本人学生とも仲良くなれたと思います。
- 教室の中だけでなく、授業以外でも、みんなと一緒に話せてよかったです。

(グループワークは難しい)

- グループ活動というのは、多数の人が集まって意見をまとめるプロセスが難しい。
- グループ活動の難しさというものを感しました。最終的にはまとまれたと思うので良かったです。

(リーダーシップの必要性)

- グループリーダーがグループ活動や話し合いを整理してくれたおかげでコミュニケーションがうまくいった。
- グループ活動をするには、その中の誰かがイニシアティブを取らなければ進行しない。このグループでは私がその役になったが、なかなかうまくいっていきは難しかった。
- リーダーとして至らない点もあり、グループワークの難しさも実感しました。

(グループワークを上手く進めるために必要なこと)

- 仲良くするには、料理とかものづくりをみんなですることが重要だと思う。
- チームワークが大切。
- ブレインストーミングをうまく行うことで、様々なアイデアが出て、話し合いに深みをもたせることができることも気がつきました。

(プレゼン・発表)

- もっと詳しく調べて、いろいろな面白い形式で、雰囲気をもりあがるようにした方がいいと思う。
- もっと面白くすることができると思う。
- 発表の時、聞いている人たちの反応に注意しながら、進めていくことが大切。
- 発表の中で劇を入れて、発表が生き生きとできたので、良かったと思う。
- 異なる文化背景を持つ人々との何気ない雑談の中に、素朴な疑問などが含まれて、そのようなものを大切にしていっていい発表が生まれるように思う。
- 最初は日本の事情がテーマだったが、グループの多くが外国と日本を比べる方法を使った。テーマから離れていなかったかと思う。

(語学)

- 留学生、皆、日本語が上手。私も語学の勉強をがんばりたい。

(日本人学生に対する発見)

- 日本人は優しいと思った。いろいろと手伝ってくれて・・・。
- 想像以上に日本人学生も一生懸命、発表の準備をしていました。